

# 荒牧町納涼祭

# じえじえじえ! ? 人がいっぱい!



荒牧町納涼祭

今の荒牧町を担っている人たちの代表



未来の荒牧町を担う人たち

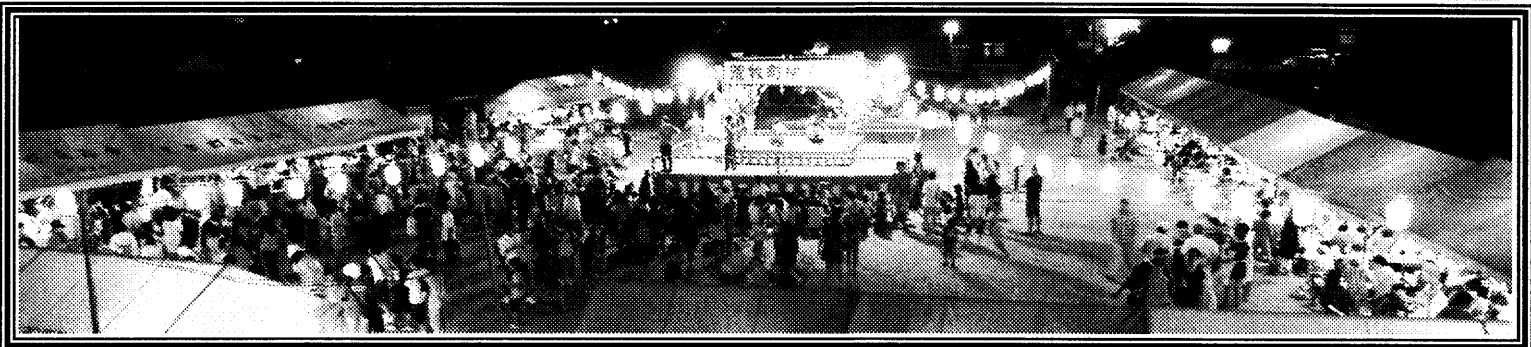
# 荒牧町 だより

第133号  
荒牧町自治会  
広報委員会

8月3日

## みんな集合~!

下宿公園



住み良い荒牧町に協  
力してくれてる人達

## 夏を楽しむ



飲む

願う

当る

招く

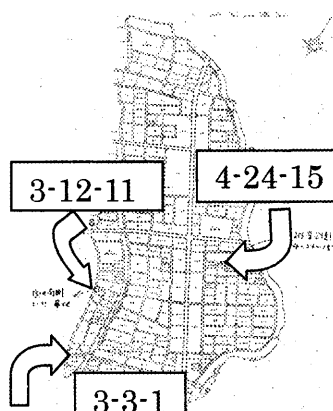
喜ぶ

つながる

遊ぶ

### 市有地にあるゴミ集積所の移動のお願い

このたび前橋市から、荒牧町にある3ヶ所の市有地を売りに出すという通知が届きました。つきましては、現在その市有地の一部をゴミ集積所として利用させていただいていますが、これを移動することが必要となりました。この先、関係する皆様方には、移動に関わるお話があるかと思いますが、ご協力のほどよろしくお願ひします。



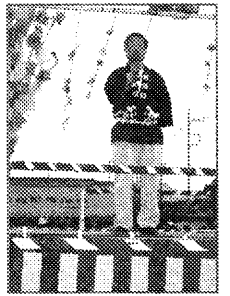
### 自治会・各団体の当面の行事予定

| 月 日      | 行 事 名         | 担 当    |
|----------|---------------|--------|
| 8月21日(水) | いきいきサロン(健康作り) | 実施委員会  |
| 8月22日(木) | 花いっぱい運動審査     | 自治会    |
| 8月31日(土) | 東地区ふれあい祭り     | 新田・東地区 |
| 9月 8日(日) | 第38回町内運動会     | 体協・自治会 |
| 9月11日(水) | いきいきサロン(輪投げ)  | 実施委員会  |

### 納涼祭のお礼

荒牧町自治会長 楯 敬次

平成25年度荒牧町納涼祭が8月3日に、天候にも恵まれ、多くの人のご参加を頂き、盛大に開催されましたこと大変ありがとうございました。



子供みこしから華やかにスタートして、踊りや抽選会等、夏の大きなイベントのひとつとして、大人から子供まで楽しい時を共有できました。約1ヶ月前から準備をして支えてくださった方々、安全に運営できるように支えてくださった方々、他にも語り尽くせない皆様一人一人の支えがあり、町内皆んなで力を合わせ作り上げたお祭りだからこそ、感動と感謝を分かち合い、お互いに心を通わせることが出来た素晴らしいものになりました。

また、会場周辺の方々には、ご理解とご協力を頂きましたこと、改めてお礼を申し上げます。皆様のご協力のもと無事終了することができました。

この納涼祭が町民の皆様にも、荒牧町だよりにある標語「住んで良かった荒牧町」そんな町づくりのお祭りになったと感じていただけたら幸いです。

ありがとうございました。

### 荒牧まちかど探検・29

#### 荒牧町と中宿

渋川へ通じる現在の国道17号線を、以前の土地の方々は新道と呼ぶことが多い。バスの停留所にも「荒牧新道」がある。そうなる旧道というところが当然考えられる。この旧道が区画整理以前に荒牧町を南北に走っていた「沼田街道」である。今ではこの街道の面影を偲ぶ場所は、あまり残っていない。

さて、この沼田街道は、なかなかはっきりしない街道の一つであると言われている。「群馬県百科辞典」、「上州の旧街道」、「沼田市誌」、「上州の旧街道・いま昔」等の参考資料を調べて見たが、全部判ったとは言えない。肝心のいつ頃に開通されたという明確な記述も見つからなかった。

まず、都丸九十九氏によると、「沼田街道は象徴的にいえば沼田の殿様の参勤交代の道路である。が、それだけのものではない。赤城山の西麓、利根川の東岸に古来開けた路である。沼田盆地と、上州の平坦地域をつなぐ交通路であるところに意味がある。古来この地域には、いく筋かの交通路があったが、結局は二筋に固定できると言える。・・・」

「この街道の起点は前橋市本町の八幡神社と言われている。旧向町を西進した後岩神町の飛石稲荷神社の東を通過し荒牧町の



前へ東へ向かっている。旧向町を西進した後岩神町の飛石稲荷神社の東を通過し荒牧町の



進んだ。北へ向かっている。沼田街道は、沼田盆地と、上州の平坦地域をつなぐ交通路である。古来この地域には、いく筋かの交通路があったが、結局は二筋に固定できると言える。・・・」

荒牧神社前の三叉路で東西に分かれる。富士見村方面から北上し沼田に至る経路(東通り)と、(西通り)と言われる同じ荒牧神社前から西に分岐して、桃ノ木川右岸を北橋村方面に関根町新町を北上する、二つの道筋へと分かれていく・・・と群馬県歴史の道調査報告書に述べられている。

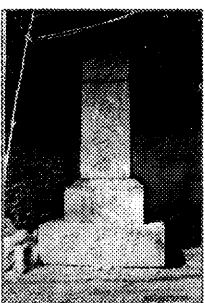
次に、この沼田街道ははっきりしない点があると上述したが、その一つがこの街道は地域によって呼び名が違っている。明治10年に発行された町村誌による沿道の村々に記されていた呼び名は次のようである。

(沼田街道)・荒牧、川端、日輪寺、米野、持柏木 (沼田道)・関根(清水越往還)・荒牧、上小出(沼田東入道)・田口(沼田通東往還)・津久田

最後に、かつての荒牧村も立派な街道筋であり、現存する上宿・下宿の間には中宿があったに違いないが、明治8年に発行された「上野国郡村誌」の中の勢多郡荒牧村の字の中には、上宿と下宿はあるが中宿の記載はない。しかし少なくともかなり最近まで「中宿」という地区名を書いて、大正年間になっても手紙の宛先にも使われていたという先輩がいる。これも二つの宿に吸収された「中宿」の沼田街道の隠れた変化であろうか。



「安政四年・・・」とあるので1857年の設置があるが、次は真壁へ行った



西回りの道は荒牧を出ると関根村新町に駅が設けられていた